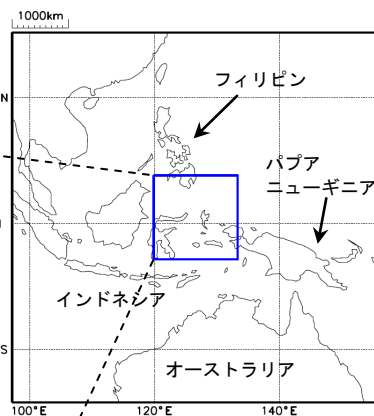
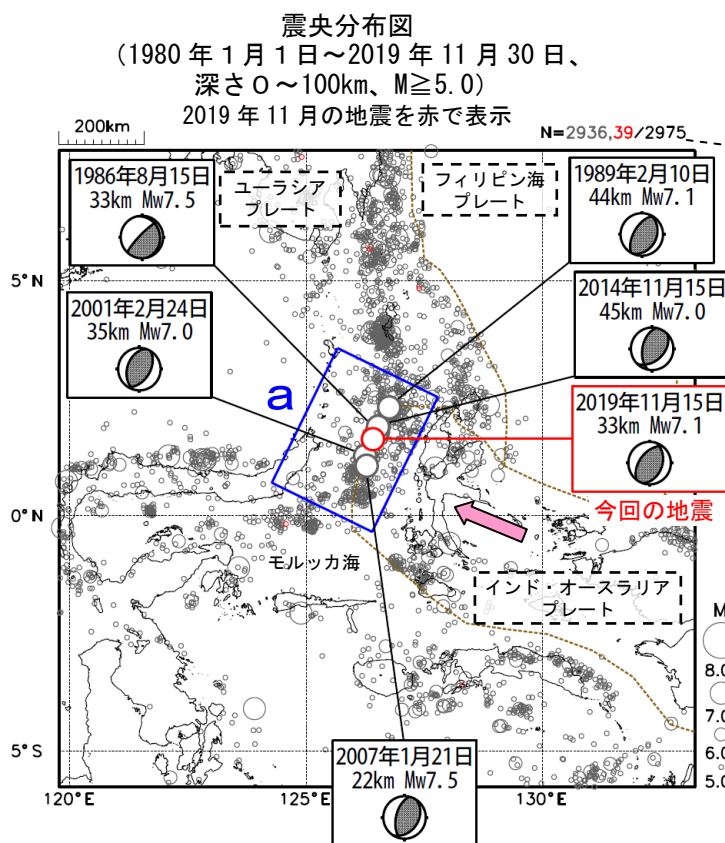


11月15日 モルッカ海の地震

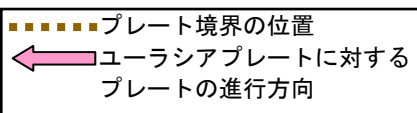
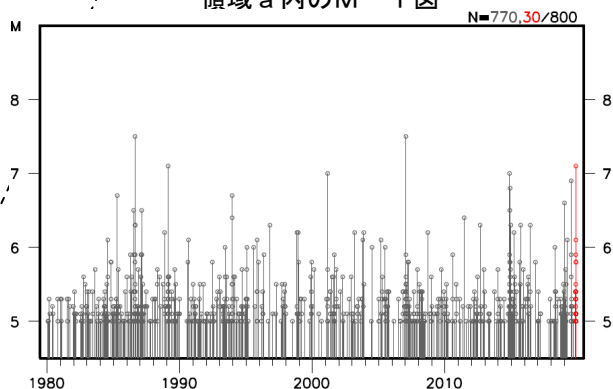
2019年11月15日01時17分（日本時間、以下同じ）に、モルッカ海の深さ33kmでMw7.1の地震が発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。この地震により、負傷者3人等の被害が生じた。

気象庁は、この地震により、同日01時43分（日本沿岸で若干の海面変動あり）と、同日03時19分（現地で津波を観測）に遠地地震に関する情報を発表した。

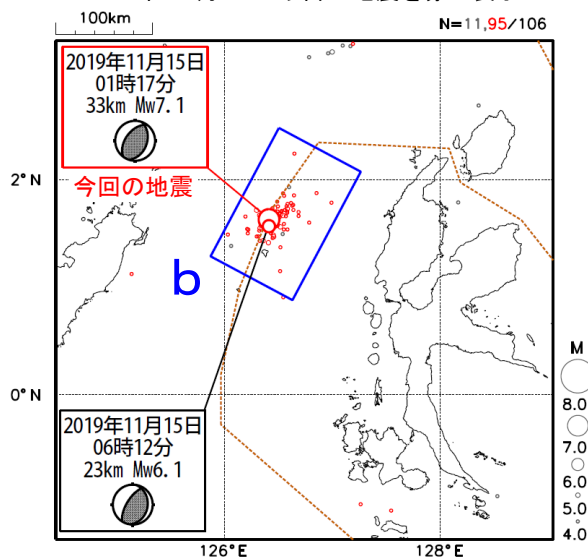
1980年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域a）では、M7.0以上の地震が時々発生しており、2007年1月21日に発生したMw7.5の地震では死者4人、負傷者4人等の被害が生じた。



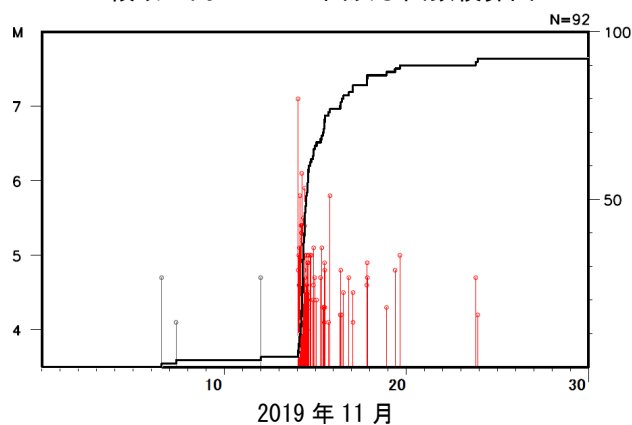
領域a内のM-T図



震央分布図
(2019年11月1日～30日、深さ0～100km、M \geq 4.0)
2019年11月15日以降の地震を赤で表示



領域b内のM-T図及び回数積算図



※本資料中、今回の地震、及び2014年11月15日の地震（Mw7.0）の発震機構（CMT解）及びMwは気象庁による。その他の発震機構（CMT解）、図中の注釈のついた地震のMwはGlobalCMT解による。その他の震源要素は米国地質調査所（USGS）による（データ入手日：2019年12月1日）。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）*より引用。地震の被害状況について、出典のないものはOCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs:国連人道問題調整事務所）による。

*参考文献

Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.